

編集後記に代えて
～小林実行委員長以外の実行委員からのメッセージ～

南部地域のまちづくりというやや広範な視点が要求されるテーマであるので、市民から建設的で具体的な意見が提示されるかと個人的には危惧していました。しかし、参加された市民の積極的で熱意のこもった討議によって効果的な結果が得られたと思います。今回ののはじめての試みを今後に活かして市民参加の手法が発展することを願います。

家坂平人

私にとっては深く関わらせて頂く5番目の市民討議会となりました。参加市民のみなさんをはじめ、実行委員会メンバー・市役所職員の方々の強い参加意欲と情熱には驚かされてばかりでした。今後、この市民参加の試みがくにたちの地に根付き、住みよい明るいまちづくりに活かされていく事を「元くにたち市民」としてとても楽しみにしています。

小針憲一

市民討議会実行委員会に参加させて頂き、いろんな意味でさまざまな角度から、とても勉強させて頂きました。

今回の市民討議会が、市民の声をうまく発信する一助になれば、嬉しく思います。

微力ながら、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

迎 浩一朗

国立市の南部地域という、今まではインターチェンジやヤクルト研究所くらいしか知らなかったが、良い点や課題など、様々なことを理解することが出来た。これからも国立市のまちづくりを考えていく上で、理解を深めていきたい。

米田典弘

軽い気持ち（一般公募）で、参加させていただくことになりました。

当初は、市民討議会に関する知識もあまり無く、全くの手探り状態でした。そんな中、実行委員の小針さんは、市民討議会推進ネットワーク事務局長ということもあり、手取り足取り、かなり委員会を主導していただきました。

昨年の秋口より、現在まで20回を越える実行委員会の集まり。委員会は平日の夜間がメインでしたので、仕事との折り合いがつかず、度々欠席もしてしまいました。

試行錯誤の連続で迎えた2月21・22両日のくにたち市民討議会当日。討議会開催も初。役員も初。参加者も初参加。休憩は？空調は？傷病者は？…等、何かと戸惑いもりましたが、何とか無事に終了しました。

私は、ほとんどお役に立てていなかったと思いますが、国立市民として今回の実行委員に携われたことは光栄です。

最後になりましたが、小林委員長を始め実行委員の皆様、立川青年会議所の皆様、そして何よりもご尽力下さった市役所・区画整理係担当の皆様、本当に有難うございました。

佐藤竜太

「市民討議会」という市民参加の手法は、とても興味深く魅力的なものでした。参加者のみなさまの意識の高さ、討論の内容のすばらしさに感動しました。次回は、あの白熱した討論に参加してみたいなと思いました。貴重な経験をありがとうございました。

高木 裕子

懸案の南部地域のまちづくりに対して、今回市民参加者及び実行委員会及び市職の関係者延べ500人以上がかかわり様々な意見が浮きぼりにされた。このことは今後少なくとも3年、繰り返し開催することによってより実現可能な南部地域案が誕生してくるであろう予感が強く感じられた。

松浦 高明

今回の取り組みは初めての経験で、討議会の実施から実施報告書作成までの実行委員会でのプロセスまた、参加者の市民の方々が初めて顔を合わせて「まちづくり」について討議を真剣に取り組み報告書ができました。参加された市民の皆さん、立川青年会議所、実行委員の皆さんが協働で取り組みました。ご協力いただいたすべての皆さんにお礼を申し上げます。

宮崎 正史

国立市南部地域整備基本計画の策定に向けた
市民討議会実行委員会委員名簿

	氏 名	備 考
委員長	小林 正嗣	社団法人立川青年会議所
副委員長	家坂 平人	公募市民
委 員	小針 憲一	市民討議会推進ネットワーク事務局長
	迎 浩一朗	社団法人立川青年会議所
	米田 典弘	社団法人立川青年会議所
	佐藤 竜太	公募市民
	高木 裕子	公募市民
	松浦 高明	公募市民
	宮崎 正史	都市振興部地域整備課長